

Rep-i : MRの評価分析



Rep-i

調査概要

調査目的： MRの総合評価/改善ポイントの明確化
 調査方法： インターネット調査
 調査対象： 全国の臨床医

有効回答： 15,417s (2021年2月)
 調査期間： 年2回 (2月・8月)
 調査主体： 株式会社インテージヘルスケア



MR総合評価

※Rep-iではMRの評価を「No.1」「高」「普通」「低」の4段階で評価。下記ランキングでは「No.1」+「高」の合算。
 ※下記結果は診療科問わずTOTALで算出（絞込みも可）

全ベース

2020年8月結果	2021年2月結果	
1 第一三共	1 第一三共	
2 武田薬品	2 大塚製薬	↑
3 大塚製薬	3 アステラス製薬	↑
4 アステラス製薬	4 武田薬品	↓
5 MSD	5 MSD	
6 ファイザー	6 ファイザー	
7 田辺三菱製薬	7 田辺三菱製薬	
8 エーザイ	8 アストラゼネカ	↑
9 ツムラ	9 ツムラ	
10 アストラゼネカ	10 エーザイ	↓

訪問ありベース(実サンプル20以上)

2021年2月結果	New: 2020年8月 TOP20圏外
1 参天製薬	11 武田薬品
2 千寿製薬	New 12 ジェイ・エム・エス
3 ヴィーブヘルスケア	New 13 中北薬品
4 日本メジフィジックス	14 アストラゼネカ
5 第一三共	15 バクスター
New 6 スミス&ネフュー	New 16 ツムラ
7 丸石製薬	17 旭化成ファーマ
8 JCRファーマ	New 18 田辺三菱製薬
9 大塚製薬	19 リー
10 アステラス製薬	20 MSD

2021年2月調査は233メーカー聴取

製薬メーカー（一部薬剤を販売している医療機器メーカー含む）のうち、15,417サンプルで1件でもMR訪問認知を得た233メーカーの評価を確認。全ベースTOP10では、大塚製薬・アステラス製薬の順位がそれぞれ上がり、武田薬品が今回4位。訪問ありベースも大塚・アステラスがTOP10に入った。

本調査結果・Rep-iに関するお問い合わせ ant-syndicated@intage.com

*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください

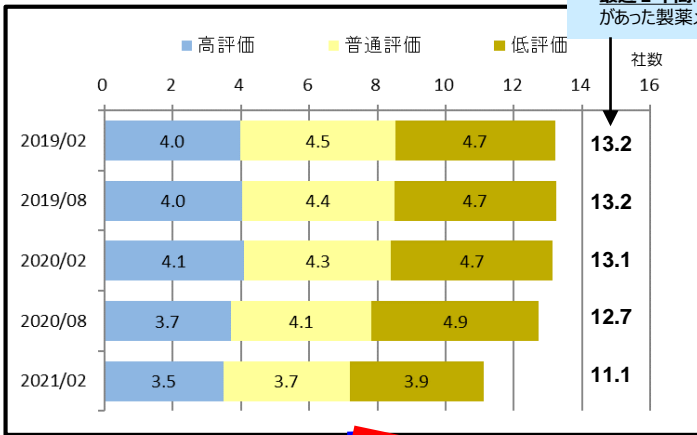
Rep-i : MR総合評価の変化



COVID-19によるMR活動の制約を受けて2回目のRep-i調査となるが、**21年2月の「MR総合評価」は年間MR訪問社数減少**で前回20年8月以上に大きく動いた。*次回21年8月は「MRの訪問+MRとのオンライン面談」で聴取予定

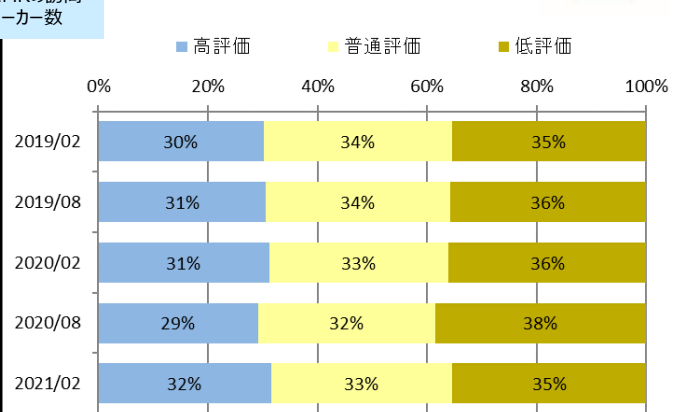
■ TOTAL MR総合評価-積上-

※ MR訪問社数：
最近1年間にMRの訪問
があった製薬メーカー数



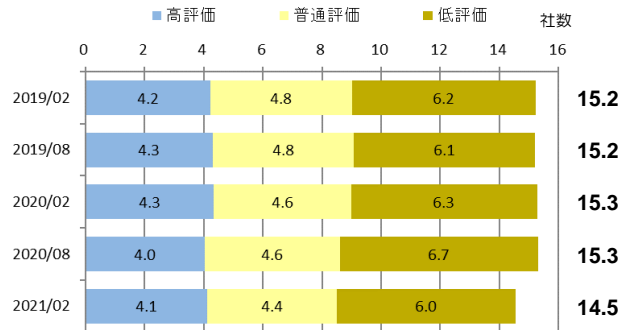
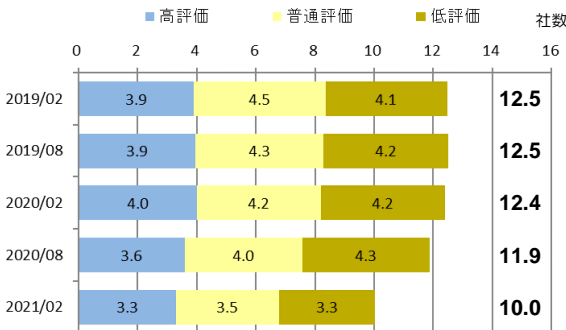
MR総合評価-割合-

REP-i



■ HP (100床以上)

■ GP (99床以下)



- **TOTAL** : 年間MR訪問社数さらに減少、総合評価割合は以前に戻る
- **HP (100床以上)** : 訪問社数が減少した分、「低評価減」が目立つ
- **GP (99床以下)** : 訪問社数は微減に留まり、HPより変動は少ない

本調査結果・Rep-iに関するお問い合わせ ant-syndicated@intage.com

*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください